

さがみ縦貫道路(首都圏中央連絡自動車道)の橋梁下部工事における疑義に関する現地調査結果等の報告について

記者発表資料

先般(12月1日)、「さがみ縦貫道路の橋梁下部工事における疑義に関する調査の報告」について発表し、現地における調査を実施して参りました。
今般、その現地調査等の結果について報告致します。

《現地調査等を踏まえ、補修が必要な杭》

- ・施工済の108本の場所打ち杭のうち、56本について現地における調査を行い、施工状況等を踏まえ、補修が必要な杭が11本と確認

鉄筋籠が所定の位置より下がっている杭 8本
杭の上部のコンクリートの一部が欠けている杭 3本

また、今回の現地調査を実施する以前に補修が必要と判断した杭
鉄筋籠が所定の位置より上がっている杭 2本

計13本

《今後の対応》

- ・上記13本の場所打ち杭については、構造・品質上の観点から必要な補修等を実施して参ります。

参考：現地調査開始 平成21年1月 9日
現地調査完了 平成21年2月20日

平成21年2月24日

国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局
横浜国道事務所 電話 045-311-2981 (代表)
副所長 酒井 洋一

先般（12月1日）、「さがみ縦貫道路の橋梁下部工事における疑義に関する調査の報告」について発表し、現地における調査を実施して参りました。
今般、その現地調査等の結果について報告致します。

◆実施した調査内容

○現地調査

鉄筋高さや位置を確認するための水準測量・鉄筋探査装置、コンクリートの強度を確認するためのコンクリート非破壊検査等を用いて現地で確認調査を実施しました。

◆現地調査結果等の主な内容

施工済の場所打ち杭108本のうち、写真の入れ替えや鉄筋を切断した杭を含む56本について、平成21年1月9日から2月20日まで現地で調査を行いました。

○現地での調査や施工状況を踏まえ、補修が必要な杭が11本と確認

鉄筋籠が所定の位置より下がっている杭	8本
杭の上部（杭頭部）のコンクリートの一部が欠けている杭	3本

○今回の現地調査を実施する以前に補修が必要と判断した杭

鉄筋籠が所定の位置より上がっている杭	2本
--------------------	----

計13本

◆今後の対応

○13本の場所打ち杭については、構造・品質上の観点から必要な補修を実施して参ります。

《現在考えられる、補修などの内容》

- ・鉄筋籠が所定の位置より下がっている杭
→必要な鉄筋の継ぎ足し
- ・杭の上部（杭頭部）のコンクリートの一部が欠けたもの
→欠けている部分のコンクリートによる補修
- ・施工中に鉄筋籠が所定の位置より上がってしまった杭
→新しい杭の設置